

大人から子どもまで地域ぐるみで “あいさつ” “声かけ” をしましょう

県では、平成16年に長崎県で発生した、小学6年の女子児童による同級生殺害事件を契機に、本県ではこのような事件を決して起こしてはならないとの思いから、「ひとつのいのち。みんなのだいじないのち。」をキャッチフレーズに、「命を大切にする心を育む県民運動」を推進しています。

この運動の一環として、知事に認定された「声かけリーダー」が中心となり、大人から子どもまでみんなが声をかけあう地域づくりを全県的に推進しています。

みんなが声をかけあう地域づくりを行うことで、子どもたちが人と人との温かな絆を感じ、命を大切にする心が育まれていきます。あなたも、あいさつ・声かけ活動から、この運動に参加しませんか？

「おはよう」

「明るいうちに帰ってきてね」

「おやすみ」

「へえ 今日そんなことがあったの
明日も良いことがあるといいね」

「こんにちは」

「いい天気だね」

「元気かい」

「お家の人心配しているよ
暗くなる前に
お家に帰ろうね」

あいさつや声かけ
当り前だけど
とても大事なこと

「どうしたの？」

「車に気を
つけるんだよ」



ひとつのいのち。
みんなの
だいじないのち。

ひとつのいのち。みんなのだいじないのち。

…命を大切にする心を育む県民運動を推進しています…

問い合わせ先 青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課 電話 017-734-9226 FAX 017-734-8050
メールアドレス seishonen@pref.aomori.lg.jp

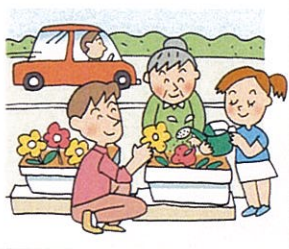
地域の人たちみんなで、 青少年を守り、育てていきましょう！

ひとついのち。
みんなの
だいきいのち。

「あいさつ・声かけ促進キャンペーン」を実施します

家庭・学校・地域において、あいさつ・声かけを励行することで、人との繋がりを再認識して、地域の人みんなが青少年を守り、育てていこうとする意識を高め、あわせていじめ防止を広く県民に訴えることを目的として、県内全域で「あいさつ・声かけ促進キャンペーン」を実施します。

☆日頃から家庭・学校・地域は具体的にどのような活動をすればよいのでしょうか？



家庭では・・・

親子や夫婦、兄弟姉妹など、家族がそれぞれにあいさつや声かけを行い、家庭での「あいさつ・声かけ活動」を実践しましょう。

また、学校や地域での「あいさつ・声かけ活動」に積極的に参加しましょう。



さわやかあいさつ
みんなが笑顔

学校では・・・

教職員と児童・生徒、児童・生徒同士、教職員同士、教職員と保護者など、それぞれがあいさつや声かけを実践しましょう。登下校時や

来校者へのあいさつをはじめ、地域活動等において、地域の方々へ積極的にあいさつをしましょう。



地域では・・・

命を大切にする心を育む声かけリーダー、町内会、各青少年市町村民会議、防犯ボランティア、命を大切にする心を育む県民運動推進会議など、小・中学校区の地域レベルで、住民一人ひとりができる範囲で「あいさつ・声かけ活動」を実践しましょう。



「あいさつ・声かけ促進キャンペーン」実施概要

実施期間：平成28年8月25日（木）～8月31日（水）

（夏休み明け、子どもたちが新たな気持ちで登校する2学期のスタート時期に合わせて実施します。）

実施時間：児童及び生徒が登校する時間帯

対象地域：県内全域

実施主体：青森県 青森県教育委員会 青森県警察本部 青少年育成青森県民会議